

～下記の研究を行います～

## 『SCRUM-Japan における遺伝子解析成功率の検討』

当院では、以下の臨床研究を実施しております。

【研究課題名】次世代シーケンサーを用いた SCRUM-Japan 研究における遺伝子変異解析の成功率とホルマリン固定パラフィン包埋製作方法の検討

【研究責任者】加藤 健志

【研究の目的】次世代シーケンサーを用いた研究における遺伝子変異解析の成功率は、切除標本のホルマリン固定パラフィン包埋作製方法に影響されると言われている。そこで当院でのパラフィン包埋作製方法と遺伝子解析の成功率を調べより検出率の高い方法を調べる。

【研究の期間】研究許可日～2025年12月31日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

SCRUM-Japan に登録された患者さん

●研究に用いる試料・情報の種類 切除標本、ホルマリン固定時間

【研究の資金源】；中外製薬 寄付金

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI（シーオーアイ）：Conflict of Interest）とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

本研究は中外製薬株式会社から資金提供を受けており、利益相反はありますが、当院利益相反審査委員会で審議され、適切に管理されています。

◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

◎試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

国立病院機構大阪医療センター 下部消化器外科  
〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14

TEL (06) 6942-1331 (代)

研究責任者 下部消化器外科 科長 加藤 健志